

CITY OF YOKOHAMA

横浜市 Y - P O R T 事業について

～ 海外の都市開発分野における産学官の連携のための交流分科会 ～

1. 横浜市の沿革と国際協力
2. 公民連携による国際協力（Y-PORT事業）
3. アジア・スマートシティ会議
4. 今後の取組や課題など

- 横浜市国際局グローバルネットワーク推進課
- 2024年10月9日

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

1. 横浜市の沿革と国際協力

External Recognition on Achievement by the City of Yokohama

LEE KUAN YEW
WORLD CITY
PRIZE

2014 SPECIAL MENTION: CITY OF YOKOHAMA



- The Lee Kuan Yew World City Prize is a biennial international award that honours outstanding achievements and contributions to the creation of liveable, vibrant and sustainable urban communities around the world.
- In 2014, Yokohama was selected for Special Mention, and will be awarded during the World Cities Summit in June.
- Yokohama was recognised for overcoming its urban challenges faced over the last 40 years through excellent partnership with its citizens and stakeholders. Also the Y-PORT programme was mentioned for its clever marriage of economic growth and international contribution by tying up with local businesses to export urban solutions to emerging cities.

2 . 公民連携による国際協力 (Y-PORT事業)

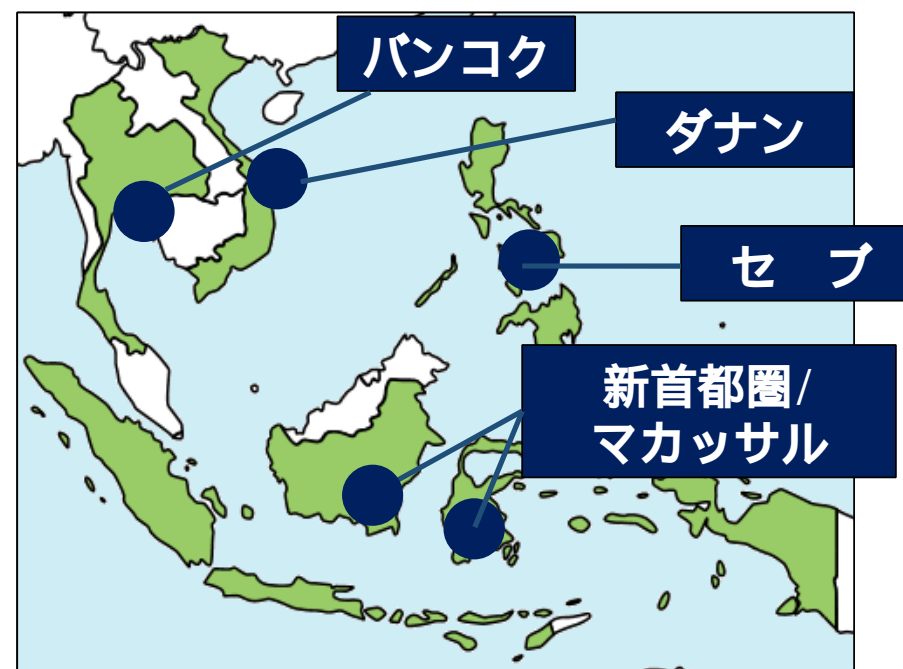
横浜市のまちづくりの経験



横浜企業の環境技術



アジアの都市（人口増加）に輸出

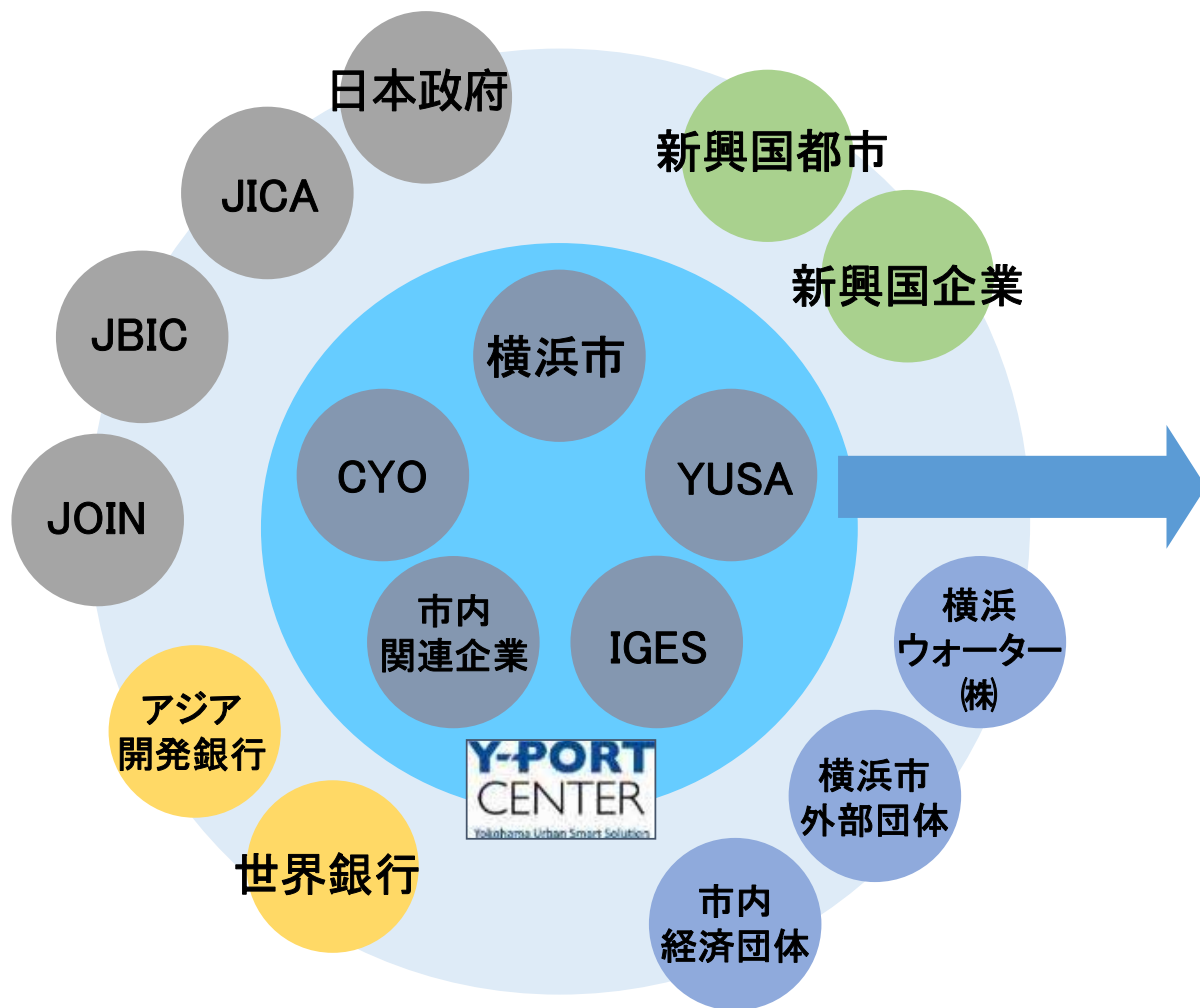


都市課題の解決に貢献
横浜企業のビジネス

1. Y-PORT事業の推進体制

Y-PORTセンター ~ 事業推進のプラットフォーム ~

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA



横浜市
国際局国際協力課



YUSA
(一社) YOKOHAMA
URBAN SOLUTION
ALLIANCE



CityNET横浜
プロジェクトオフィス



Y-PORTセンター公民連携オフィス
GALERIO

1. Y-PORT事業の推進体制

Yokohama Urban Solution Alliance (YUSA)

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

海外インフラビジネスの機会の拡大と新興国の都市課題解決に貢献するため、参画する各企業の連携による最適なソリューションの提供を目指す団体



 株式会社オオスミ	 カーボンフリーコンサルティング株式会社	 株式会社グーン	 興業商事株式会社	 株式会社Sansei
 JFEエンジニアリング株式会社	 T.K.K.エボリューション株式会社	 日本工営株式会社	 株式会社マクニカ	 株式会社村田製作所
 関西電力株式会社	 官清工業株式会社	 株式会社京三製作所	 京セラ株式会社	 株式会社きらぼしコンサルティング
 J&T環境株式会社	 株式会社JVCケンウッド	 株式会社輝成工業	 株式会社湘南貿易	 新明和工業株式会社
 相鉄不動産株式会社	 武松商事株式会社	 前澤工業株式会社	 株式会社みずほ銀行横浜支店	 株式会社三井住友銀行
 ユアサ商事株式会社	 横浜銀行株式会社横浜銀行			



事業化の流れ

海外都市との
ネットワーキ
ング

行政プラン
づくりを支援
(横浜の知見)

横浜企業の
マッチング支援

横浜企業の
調査・モデル
事業支援

横浜企業の
現地での受注
(事業化)

セブの事例



メトロセブ開発調
整委員会との協議

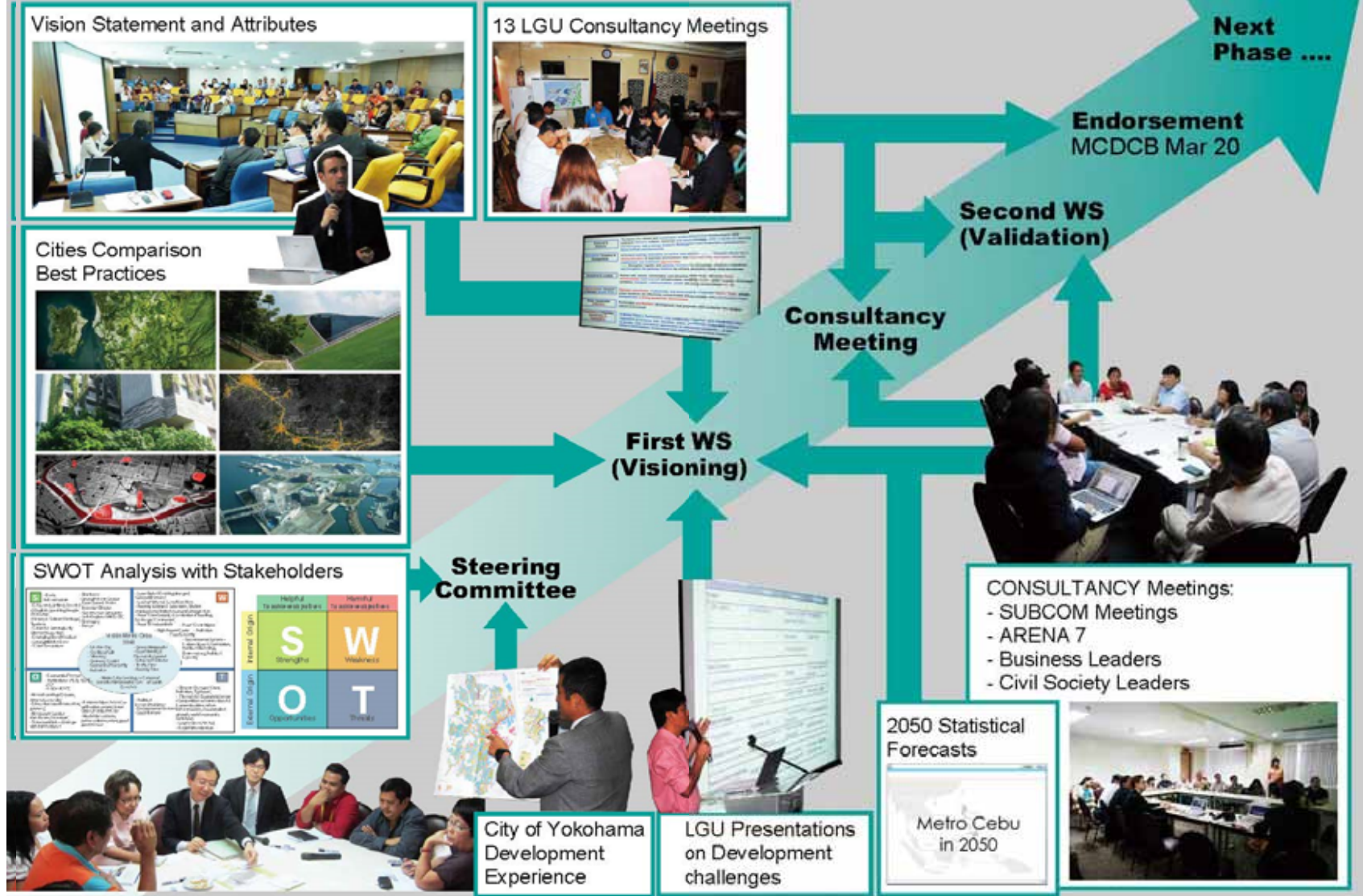
メガセブロード
マップ2050

都市開発テーマに
した会議でのビジ
ネスマッチング

JICA実証事業
(上)廃プラ燃料化
(下)引抜汚泥の脱水
処理

事業化
(上)商業リサイクル
プラント
(下)無償資金協力
汚泥処理事業

PARTICIPATIVE PROCESS FOR MEGA CEBU 2050



Source: JICA "MEGA CEBU VISION 2050 FORMULATION OF SUSTAINABLE URBAN DEVELOPMENT VISION FOR METRO CEBU, March 2013



Source: JICA "MEGA CEBU VISION 2050 FORMULATION OF SUSTAINABLE URBAN DEVELOPMENT VISION FOR METRO CEBU, March 2013

Mega Cebu Roadmap 2050

Youtube

<https://www.youtube.com/watch?v=nyF6sAtMcZ8>



Mega Cebu Roadmap for a Sustainable Urban Development for Metro Cebu



Mega Cebu Roadmap for a Sustainable Urban Development for Metro Cebu



Mega Cebu Roadmap for a Sustainable Urban Development for Metro Cebu



Mega Cebu Roadmap for a Sustainable Urban Development for Metro Cebu



都市課題解決策の提案と実践事例（セブ）

増大する廃棄物量
不衛生な廃棄物処理





株式会社グーン

廃プラスチックの
リサイクルプラント

(2017年5月開所)



都市課題解決策の提案と実践事例（セブ）

下水処理システムの欠如
河川等の汚濁





アムコン
株式会社

2 . Y-PORT事業の活動実績

海外都市の行政プランから市内企業との公民連携事業

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

市内企業との連携調査・実証事業83件、このうち市内企業が受注した事業化事例は30件（令和5年度末）

都市間連携・行政プラン

調査・実証

事業化・拡大

セブ

2012年～

- メガセブビジョン2050、ロードマップ支援
- 知見の共有



- JICA中小企業海外展開支援事業
- 環境省我が国循環産業の海外展開事業化促進業務



グーン

リサイクル工場建設、代替燃料製造

ダナン

2013年～

- 都市開発アクションプラン支援
- 知見の共有



- 環境省JCM案件形成可能性調査事業
- JICA民間提案型普及・実証事業



横浜ウォーター

上水道施設への高効率ポンプ等の導入(JCM)

バンコク

2013年～

- 気候変動マスタープラン、エネルギーアクションプラン支援
- 知見の共有



- 環境省途上国イノベーション創出事業
- ...



ファインテック

工場への屋根置き太陽光発電による電力供給 (JCM)

3 . アジア・スマートシティ会議

Asian Cities Together for a Greener Future

13th Asia Smart City Conference



October 23-24, 2024 YOKOHAMA, JAPAN





タイムテーブル案

10/23(水)

G 2 (300席)

G 1 (100席)

オープニングセッション
(10:00-10:30)

GREEN×EXPO 2027
セッション
(10:40-11:30)

ビジネス・キーノート
(11:40-12:00)

アジアの都市及び
出展企業による
ピッチ
(1040-1200)

ネットワーキング(1210-1300)

A DBセッション
(1310-1510)

アジアの都市 他

テーマ別セッション
【横浜発GXショーケース】
(1310-1355)

テーマ別セッション
【モビリティ】
(1405-1450)

ユースセッション
(1500-1600)

JICAセッション
(1530-1700)

アジアの都市 他

スマートシティ・インスティ
テュート(SCI)セッション
(1615-1715)

ブ
ー
ス
展
示

10/24(木)

G 2 (300席)

G 1 (100席)

世銀セッション
(1000-1200)

アジアの都市 他

ビジネス・キーノート
茂木健一郎氏
(1000-1030)

テーマ別セッション
【半導体】
(1040-1125)

テーマ別セッション
【サーキュラーエコノミー】
(1130-1200)

ネットワーキング(1210-1300)

CITYNETセッション
(1310-1510)

アジアの都市 他

TICAD9関連セッション
(1310-1410)

ヨコハマ未来創造会議セッション
(1430-1510)

15:20-16:30
ハイライトセッション・
共同宣言

ブ
ー
ス
展
示

A
M

P
M

GXビジネスプログラムのセッション案

アジア都市のピッチ

- アジアスマートシティ会議で招聘したアジアの諸都市が、自らの都市課題(主にインフラ分野を想定)を提示し、ソリューションについて国内企業から提案を募ることで、ビジネス創出を図る。

横浜発のGXソリューション

- 横浜脱炭素イノベーション協議会の会員企業を中心に、横浜発のGXソリューションを発信するとともに、脱炭素に資する先進的な技術やナレッジをシェアする。

モビリティ

- 脱炭素に資するモビリティをテーマに、最先端のソリューションと横浜のポテンシャルについてパネルディスカッションまたはプレゼンを行う。

ユースセッション 市内大学生による研究発表

- 横浜市立大学の学生による、都市課題や環境技術をテーマとした研究発表。

スマートシティ インスティテュート (SCI)

- スマートシティなど公共空間やサイバー空間のあり方が、どのように市民のウェルビーイングに影響を及ぼすかについて、横浜・米国・韓国を先端事例として討議・情報発信する

キーノート

- 著名人が登壇し、脱炭素社会に向けた課題と展望、都市づくり等に対する考えを発信する。

半導体

- 最新の半導体戦略、横浜でビジネス展開する理由やビジネス環境について、企業の実務者によるパネルディスカッションを行う。

サーキュラー

- 市内企業目線での最新トレンドのシェア、サステナビジネスで横浜に進出することのメリットの発信等を行う。

アフリカセッション

- 来年のTICAD9横浜開催をふまえ、政府関係者による講演、アフリカビジネスの実践者によるパネルディスカッションを行い、アフリカへの事業展開に関心のある企業に向けてアフリカでの最新のビジネス環境や魅力を紹介する。

ユースセッション ヨコハマ未来創造会議

- GREEN×EXPO 2027の開催を契機に、20年・30年先の社会を担う現在の大学生や企業の若手社員の若者が参加、議論し、アクションを起こすきっかけとなるプラットフォーム「ヨコハマ未来創造会議」の参加者が、それぞれの掲げる社会課題とそれに対する取組やアイデアを共有する。

 = 横浜発のGXソリューションの発信

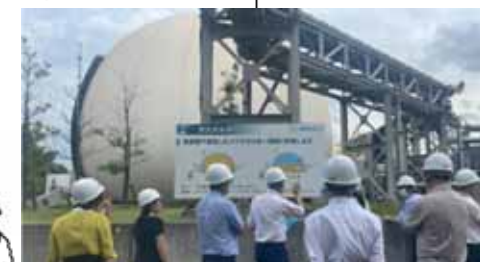
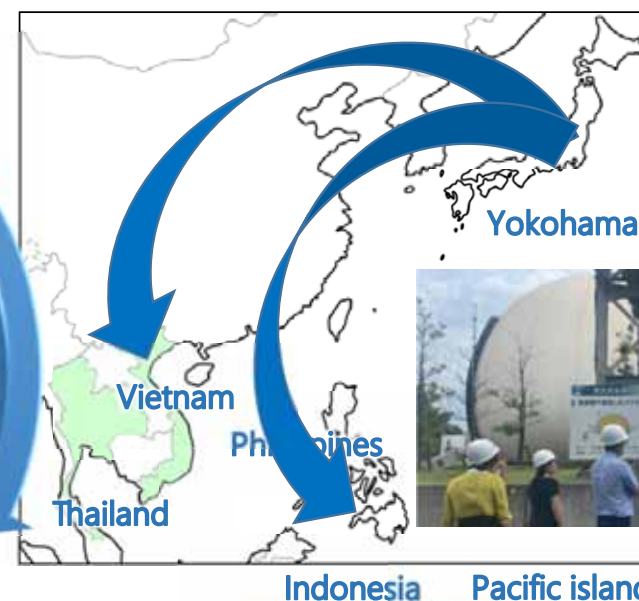
 = 最新技術・ナレッジのシェア

 = 次世代を担う若者からの発信

4 . 今後の取組や課題など

Y-PORT事業が目指すインフラビジネス展開のサイクル

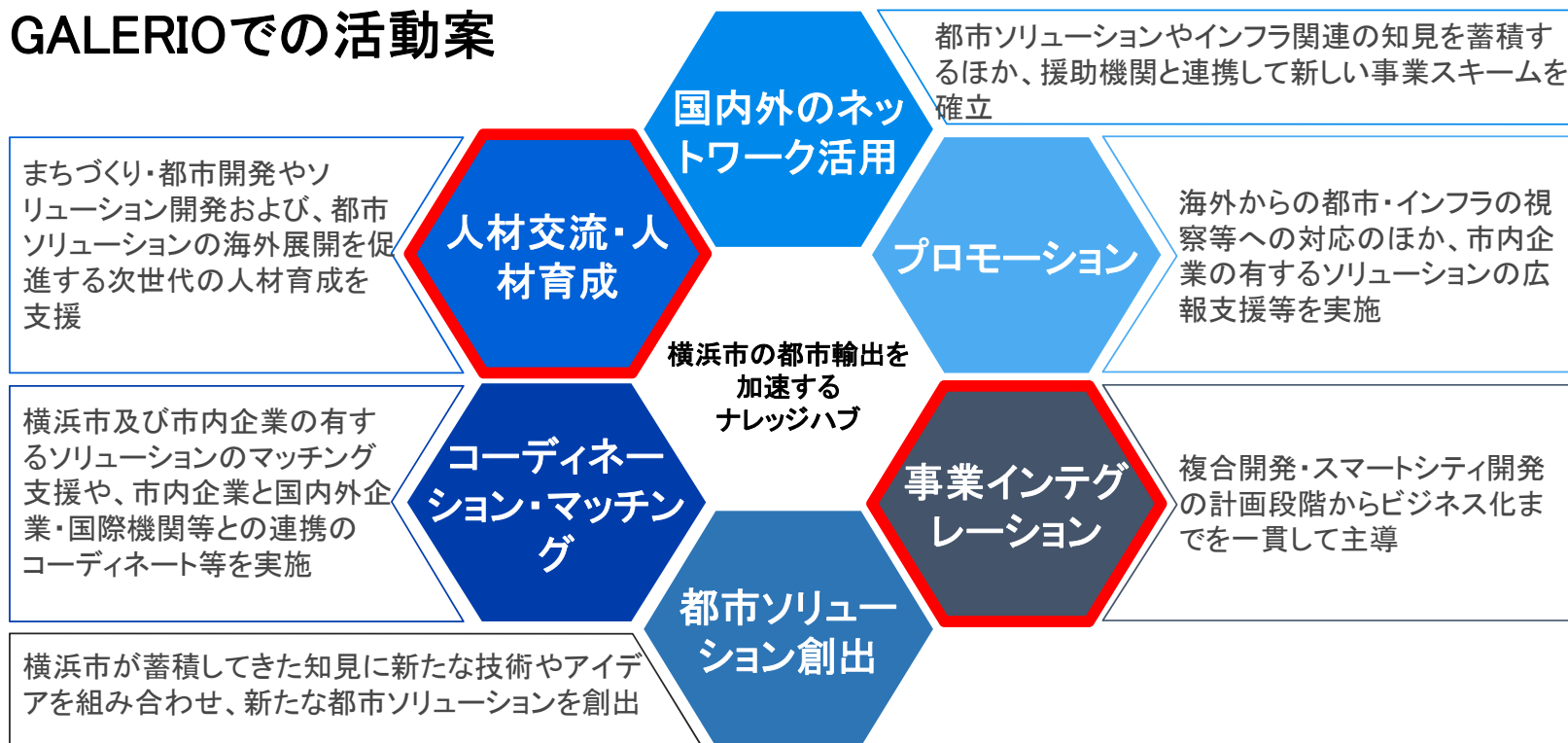
海外都市ネットワーク、都市間協力の推進、市内企業との国際貢献事業の共創のサイクルによって、海外の都市課題の解決と市内企業のインフラビジネス展開を進めています。



Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIO

- 横浜の総合的な都市づくりの知見や、国内外のキープレーヤーが結節点(ナレッジハブ)として「Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIO」を開設

GALERIOでの活動案



Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIO

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA



インドネシア国国家開発企画庁(BAPPENAS)との 地方自治体職員の研修受入れ(都市計画)の目的

- ①日本政府の円借款事業として行われる、インドネシア国国家開発企画庁都市プランナー人材育成教育センター(CPDET)の「本邦機関での人材研修事業」にて、インドネシア都市(バリクパパン市等)の職員に横浜市の知見を提供すること。
- ②本研修で得た知見をバリクパパン市の中期計画や、新首都広域都市圏Tri-Citis構想(バリクパパン市を含む)の実行支援に活用すること。



国家開発計画省大臣(兼BAPPENAS長官)
視察受入れの様子(2022年12月)



新首都広域都市圏開発(バリクパパン市)位置図



BAPPENAS、JICA、横浜市による
新首都広域都市圏の合同調査
(2023年10月、ヌサントラコア地区)

プログラム案

		週テーマ
1週目	10/15－10/18	・オリエンテーション ・日本の都市計画概論
2週目	10/21－10/25	・ <u>アジア・スマートシティ会議への参加(10/22-24)</u>
3週目	10/28－11/1	・横浜市の総合都市計画 ・横浜市の都市デザイン ・研修員による研究計画発表
4週目	11/5－11/8	・横浜市の市街地開発事業
5週目	11/11－11/15	・みなとみらい21地区における開発について ・ <u>市内企業等との交流</u>
6週目	11/18－11/22	・みなとみらい21地区開発事業
7週目	11/25－11/29	・建築物の環境配慮のための施策等 ・ <u>市内企業との交流</u>
8週目	12/2－12/6	・成果まとめ ・最終プレゼンテーション

案件形成に向けた新たなモダリティ CMaaS(City Management as a Service)コンセプト

- 横浜市及び横浜関連企業による、都市のコンセプト作りから運営に至るまでの**都市経営 (City Management)のノウハウ**は重要な資産であり、ASEANで新たに都市づくりを始めるデベロッパーに対して価値のあるプロダクト
- 横浜のノウハウを、「サービスとしての都市経営 City Management as a Service (CMaaS)」として、都市輸出することを目指す

ビジネスモデル作り
リスク分担
公民連携手法の提案

魅力的な
コンセプト
マスタープラン策定

街づくり協定
デザインガイドライン
景観計画

質高で持続可能な
インフラ整備

統一性のある
開発への誘導

持続的なエリマネ
販わい創出
インフラマネジメント

【目に見える魅力・実績】
186haのみなとみらい地区開発
が、約1,820社を誘致し、年間約
8,340万人もの来訪者が訪れる横
浜市の顔に成長



CMaaSが創出するビジネスのイメージ

新興国で民間開発事業者が進める都市開発事業に対して、本邦自治体が有する都市開発～運営に係るノウハウ・知見に加えて市内企業が有するスマート・サービスやユーティリティ・サービス事業を組合せた事業提案を展開中。

開発事業（建物＋インフラ）



都市開発



タウンシップ開発



工業団地開発

現地デベロッパー
横浜市ノウハウ（開発～運営）



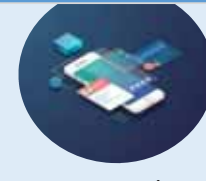
スマートサービス



スマートホーム



アミューズメント



EC・アプリ



モビリティ



物流



データプラットフォーム

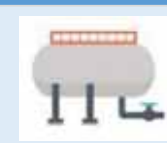
ユーティリティ



排水処理場



電力



ガス



地域冷暖房



浄水場



通信



廃棄物処理



エネマネ

YUSA会員企業、市内企業
（スマートサービス・ユーティリティの具体技術／製品パッケージ）

YUSA都市開発アドバイザー一部会

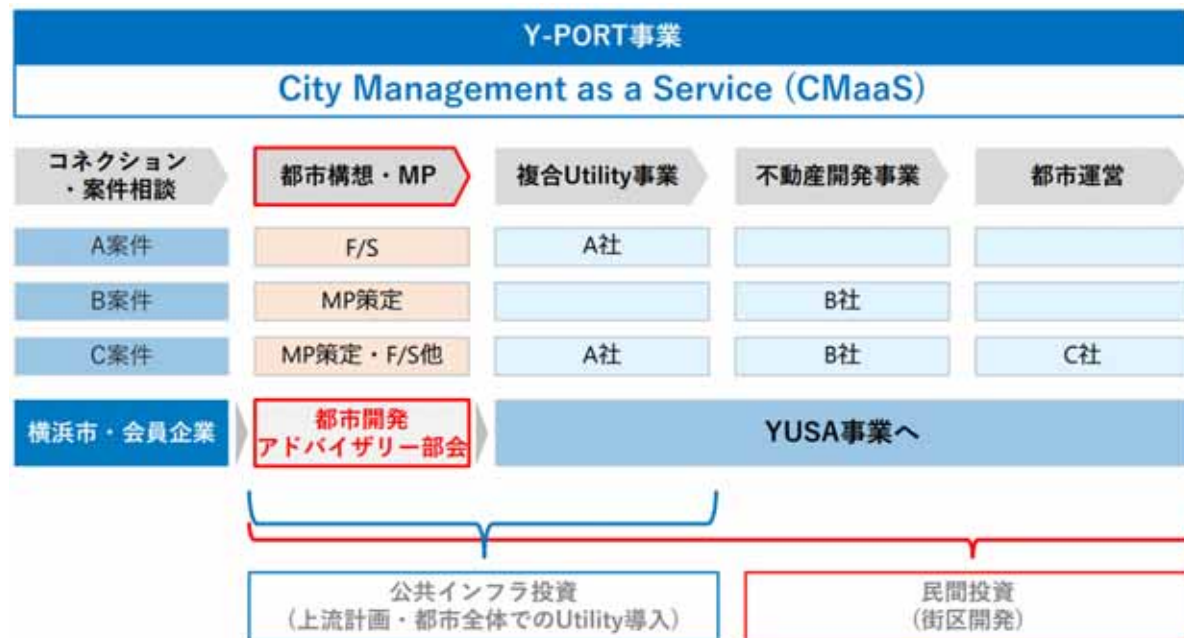


1 目的

- YUSA及び横浜市関連企業の海外展開に資する上流アドバイザー業務の組成
- 横浜市およびYUSA会員企業・他部会とのコンサルティング業務に関する情報交換・共有
例) 都市開発及びスマートシティのマスタープラン策定・事業組成等
 - 公共調査／補助金 (JICA、省庁系、自治体、国際機関)
 - 民間調査
 - 会員企業間の勉強会
 - 横浜市各局との情報交換

2 部会メンバー

- 日本工営(幹事企業)
- カーボンフリーコンサルティング
- JFEエンジニアリング
- YUSA事務局
- 案件ベースで横浜市や会員企業各社も参加



部会の位置づけ

まとめ(課題)

1. Y-PORTセンターGALERIOやアジア・スマートシティ会議でのナレッジの蓄積・見える化、日本・横浜の優位性
2. 行政プラン支援(技術協力)から事業化(ビジネス)に繋ぐ仕組みの強化
3. 国、JICA、MDBsの支援の呼び込み

【ご案内】Y-PORT事業ウェブサイト

- Y-PORTメーリングリストには是非ご登録ください。
ビジネスマッチングやイベント情報を随時メールでご案内しています。



URL <https://yport.city.yokohama.lg.jp>

トップページ下段の登録ボタンから
メーリングリストにご登録ください